

出会いの場づくり事業 アグリパークdeプレクリスマス

第2部会長 田中 容子



12月9日、昨年度に続き2回目の出会いの場づくり事業、「アグリパークdeプレクリスマス」を開催しました。独身男女各19人が参加。

当日はサンドイッチとスープ作りやフラワーアレンジメントをしながら交流を深め、5組のカップルが成立しました。アンケートでは「気持ちが前向きになった」「次回も参加したい」など前向きな回答を多くの方からいただきました。

次年度もこの事業を計画していますので、出会いや結婚を考えている方は、ぜひ気軽に参加してみてくださいはいかがでしょうか。

<アンケートの感想より抜粋>

料理を一緒に作る企画は良かったと思います

お料理がおいしく、フラワーアレンジメントも楽しかったです

気軽に参加できました

来て良かったです



挿絵：白根高校美術・イラスト部

2区合同研修に参加して

南区自治協議会副会長 青木 智子

1月23日、秋葉区自治協議会との合同研修を開催し、南区11人、秋葉区16人が参加しました。今回で2回目となる本研修は秋葉区の2カ所の施設を会場に実施。

まず、新津鉄道資料館では、地域と協働による取り組みについて学びました。商店街が主体となって企画段階から取り組んだシャッターアートや駅名案内看板の設置のほか、さまざまな団体と協働で行った、SLばんえつ物語号の運行やグッズ開発、鉄道資料館の充実など、歴史を後世に残したいという市民の声を具体的な活動に繋げていった力は凄いと思いました。

次は、FMiにいつでのラジオ収録と見学でした。小田会長がラジオ番組に出演をし、南区の良い所を聞く人にわかりやすく、また耳に心地良く説明しました。私たちも自治協の活動などを南区の皆さんへ情報発信していますが、その大切さを改めて感じました。



南区自治協議会6期目を振り返って

南区自治協議会会長 小田 信雄



私たちの新潟市は政令市に移行する際、市のありようとして「自治と分権と協働」のまちづくりを大きな柱にスタートいたしました。その協働の要として、各区に自治協議会が設立されて早くも6期、12年が経過しました。

私は1期、2期に引き続き、この6期目の会長をお引き受けいたしました。残念ながら当初、この大きな柱に対しては行政も市民も、ひいては委員の皆さん方も具体的な共通認識が極めて希薄でありました。

6期目の自治協議会の本会議で「自治協議会の本来の責務は何か」の議論を開始し、活動の妨げになっているもの、負担になっているものを整理し、もっと大勢の区民の皆さんのアイデアと力

を南区のまちづくりに発揮していただくこと「部会の役割検討特別部会」で議論をした結果、新規に「まちづくり活動サポート事業」をスタートすることができました。

自治協議会の一番の仕事は、区民、各界、各層の代表者による議論であり、議論の定着にも力を注いだつもりです。区や市と協働で押し進められる施策や政策の形成過程に議論で参画し、それに検証と評価を加えるという自治の普遍的な原則にも挑戦させていただきました。区長の積極的な姿勢とも相まって、新潟市8区の中で初めて区政の重点施策について部会や全体会で検証と評価を行い、新たな提言も加えることができました。

8区の中で一番小さな自治協議会ではありますが、「自治」と「分権」と「協働」のまちづくりを実現するために奮闘したことを報告し、来期以降も更に力強く前進することを期待いたします。

車を運転しない方の「生活の足」、子供達の「通学の足」であるバス路線を守っていきましょう。

わたしたちは南区の区バスを応援しています。

